

令和4年度 第2期長久手市まち・ひと・しごと創生総合戦略の各施策事業の進捗状況一覧

資料2-1

基本目標 1 役割・しごとづくり (誰もが活躍できる役割・しごとをつくる)	数値目標	基準値 2019(令和元)年	目標値 2024(令和6)年
	地域で「たつせがある」と思う人の割合	33.4%	50.0%

基本的方向	施策・事業名	事業概要	KPI(重要業績評価指標)	目標値 令和3年度 (令和2年度)	実績値 令和3年度 (令和2年度)	達成率 令和3年度 (令和2年度)	令和3年度の活動結果	達成できなかった理由 (令和3年度の目標値に対し、実績の達成率が100%未満の場合のみ記入)
市民の力を活かした新しい役割分担の仕組みをつくる	1 ながくて地域スマイルポイント事業	市民活動参加のきっかけづくりのため、市民活動に参加した人に対してポイントを付与し、貯まったポイントを交換品に換えることができる事業を行う。	ながくて地域スマイルポイント交換者数【単年】	580人 (450人)	435人 (454人)	75% (101%)	市内福祉事業等におけるボランティア活動、市主催行事等への参加、市民団体が自主的に実施する奉仕活動に対してポイントを付与し、貯まったポイントを図書カード等に交換を行った。	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により対面活動を中止と判断するケースが多く、参加できる活動が制限され、還元品と交換できるポイント数(10ポイント)までためることが困難な状況であったため。
	2 まちづくり活動補助事業	市民が日常生活の中で気がついたことや地域の課題を、市と協働して解決する取組を応援する「まちづくり活動補助事業」を行う。	協働まちづくり活動補助団体【単年】	9団体 (9団体)	4団体 (0団体)	44% (0%)	・一般事業枠、テーマ型事業枠に加え、令和3年度から新たに学生枠を設置し、学生のまちづくりへの参画を促した。 ・協働まちづくり活動補助4団体に対し補助を行った。 ※補助対象団体:子づれ備災クラブ、NPO法人ながいく、クーティングーナキッズダンス隊、ALEQ	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で、制度の積極的な周知を行うことができなかったため。 ・対象となる市民団体が活動を制限されていたため。
	3 まちづくりセンター機能強化事業	市民活動団体の活動拠点として、まちづくりセンターの運営体制を強化する。	まちづくりセンターの運営を考える会開催回数【単年】	6回 (4回)	1回 (1回)	17% (25%)	まちづくりセンターの運営を考える会を開催し、検討した結果、まちづくりセンターの運営体制として、まちセンコーディネータが市民活動団体の相談を受ける体制が整った。 ※本事業については来年度以降、事業完了とみなします。	まちづくりセンターの運営を考える会のなかで運営体制が整ったため。
	4 学生まちづくり活動支援事業	市内4大学および周辺大学と連携し、大学の持つ知的財産や人材、学生の持つ若い力を生かすための仕組みづくりに取り組み、学生のまちづくり活動を支援する。	大学連携事業(継続事業)実施件数【単年】	35件 (28件)	26件 (16件)	74% (57%)	・各大学等の特色を活かした事業を実施した。 ・市内4大学の教員及び学生、市民団体、企業がごちゃまぜになって地域でやりたい活動について話し合うワークショップをオンラインで行った。	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、中止する事業があったため。
「農ある暮らし」で好循環をつくる	5 アグリサポートセンター事業	アグリサポートセンターを設立し、農地のマッチング等、様々な人が行う農に関わる取組を応援する。	アグリサポートセンターの設立	(令和6年度までに設立)	未設立	—	所有者が耕作、管理できなくなった農地を、担い手や新規就農者に農地として活用してもらえるよう「農地マッチング支援事業」を開始した。まずは、農地を貸したい人の発掘に注力し、事業を実施した。	—
	6 農福連携事業	農業を活用した障がいのある人の雇用機会の拡大や、人手不足による耕作放棄地の有効活用のため、農福連携に取り組む。	農作業に携わった障がいのある人の人数【単年】	30人 (29人)	53人 (38人)	177% (131%)	令和元年度に実施したアンケートで農福連携に興味があると回答した農業者に個別に連絡を行い、障がい事業所とのマッチングに努めた結果、昨年度実績の38人から53人まで増加した。	—
民間活力をまちづくりに活かす	7 住民起業支援塾事業	地域の課題を市民が主体となって解決するため、ビジネスの手法を活用し、仕事として報酬を得ながら事業を持続的に継続する「コミュニティビジネス」の起業に必要な知識を学ぶ講座を行う。	起業家数【累計】	8人 (7人)	9人 (8人)	113% (114%)	令和3年度より商工会の実施している創業事業の支援強化に伴い、事業を商工会へ移管した。創業支援に関するセミナーを実施し、市としては、ホームページやイベントメール等で周知に努めた。	—
	8 女性活躍推進事業	女性が活躍でき、男女がともに仕事と家庭の両立した生活を送ることができる環境づくりのため、理解促進・啓発事業を行う。	女性活躍推進に係る出前講座開催回数【単年】	3回 (2回)	3回 (1回)	100% (50%)	育児などで離職し再就職を目指す女性を対象に、マザーズセミナー、ママたちのワークショップ、再就職セミナーそれぞれ1回実施した。各講座では、仕事探しについて知るセミナーや再就職に向けた悩みの共有、自身の将来のキャリアを考えるワークなどを行った。	—
	9 市民・民間・行政のプラットフォーム形成事業	市民、民間企業、行政で今後の連携のきっかけになるようなネットワークづくりを推進し、行政にはない市民や民間事業者の知見や活力、資源をまちづくりに生かし地域課題を解決する公民連携に取り組めます。	市民・民間・行政のプラットフォームで取り組む地域課題数【累計】	(令和6年度までに1つ)	0つ	—	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、市民や民間企業との対話が困難であり、ネットワークづくりの推進の取組は停滞しているが、令和4年3月には中北薬品株式会社と健康づくりの促進及び高齢者支援を目的に連携協力を図るため、包括連携協定を締結した。	—

完了とした事業

基本的方向	事業名	事業概要	完了とした理由
「農ある暮らし」で好循環をつくる	あぐりん村再整備事業	あぐりん村(田園バレー交流施設)の新たな魅力を創出するため、売り場の拡大や充実等の再整備を行います。	令和2年度にあぐりん村の増築棟の建築が完了したため。

基本目標 2 子育て支援 (子どもを通して家族と地域の輪が広がるまちをつくる)	数値目標	基準値 2012(平成24)年	目標値 2024(令和6)年
	合計特殊出生率	1.55	1.6
	数値目標	基準値 2019(令和元)年	目標値 2024(令和6)年
	安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思う人の割合	58.8%	65.0%

基本的方向	施策・事業名	事業概要	KPI(重要業績評価指標)	目標値 令和3年度 (令和2年度)	実績値 令和3年度 (令和2年度)	達成率 令和3年度 (令和2年度)	令和3年度の活動結果	達成できなかった理由 (令和3年度の目標値に対し、実績の達成率が100%未満の場合のみ記入)
ア 子育てしやすい環境の整備	10 子ども預かり事業	保護者の就労形態や生活スタイルが多様化するなか、子育てできる環境を整備するため、子ども預かり事業を行います。	子ども預かり事業延べ利用者数【単年】	1,000人 〔1,000人〕	1,591人 〔696人〕	159% 〔70%〕	市の子育て支援センター事業として、高齢者生きがいセンター1階作業室を改修し、令和2年10月に「子どもの預かり室 ことりルームびっぴ」を設立した。子育て中の保護者を対象に医療機関・健診の受診や短時間の就労及び買い物等の間、育児から離れる時間を確保することを目的とし、子どもの預かりを行う。	-
	11 女性活躍推進事業(再掲)	地域の課題を市民が主体となって解決するため、ビジネスの手法を活用し、仕事として報酬を得ながら事業を持続的に継続する「コミュニティビジネス」の起業に必要な知識を学ぶ講座を行う。	女性活躍推進に係る出前講座開催回数【単年】	3回 〔2回〕	3回 〔1回〕	100% 〔50%〕	育児などで離職し再就職を目指す女性を対象に、マザーズセミナー、ママたちのワークショップ、再就職セミナーそれぞれ1回実施した。各講座では、仕事探しについて知るセミナーや再就職に向けた悩みの共有、自身の将来のキャリアを考えるワークなどを行った。	-
イ 地域で支え合う子育て支援	12 保育園児童館等地域交流事業	若者から高齢者までの幅広い世代の地域住民が保育園や児童館等の環境整備や行事にボランティアとして関わること、子どもたちとの交流を推進する。	保育園児童館等地域交流事業登録者数【単年】	140人 〔130人〕	127人 〔121人〕	91% 〔93%〕	・保育園のおさんぽの付き添いや、保育用品の作成などに延べ535人が参加した。 ・児童の遊び相手、低木剪定などの環境整備、行事のサポート、イベントの講師などに延べ151人が参加した。	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、新たな参加者の募集が困難であったため。
	13 子どもチャレンジ事業	子どもが抱いた「夢」や「学習」等に対して、子ども自ら課題を見つけ、達成する過程で主体性を育成する取組を行う。	子どもチャレンジ事業取組人数【単年】	10人 〔実施〕	未実施 〔未実施〕	- 〔-〕	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に影響により、事業を中止した。 (※令和4年度は実施中)	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、サポーターや協力事業所の安全確保、保護者の不安が解消できなかったため。

基本目標 3 地域コミュニティ・地域福祉 (地域のつながりを構築し、元気に安心して暮らせるまちをつくる)	数値目標	基準値 2019(令和元)年	目標値 2024(令和6)年
	地域活動や行事にスタッフとして参加したことがある人の割合	18.9%	35.0%
	数値目標	基準値 2015(平成27)年	目標値 2024(令和6)年
	健康寿命	男性 80.2歳 女性 85.0歳	延伸

基本的方向	施策・事業名	事業概要	KPI(重要業績評価指標)	目標値 令和3年度 (令和2年度)	実績値 令和3年度 (令和2年度)	達成率 令和3年度 (令和2年度)	令和3年度の活動結果	達成できなかった理由 (令和3年度の目標値に対し、実績の達成率が100%未満の場合のみ記入)
ア 市民が支え合うコミュニティをつくる	14 まちづくり協議会設立運営支援事業	自治会をはじめ、子ども会やシニアクラブ、企業、機能別のNPO、各種活動団体等の団体をネットワーク化したまちづくり協議会を北小学校区に設立し、設立準備会を南小学校区に設立することを目指します。また、長久手小学校区、東小学校区についても、まちづくり協議会設立に向けての支援を行う。	まちづくり協議会設置数【累計】	3 団体 (2 団体)	2 団体 (2 団体)	67% (100%)	・北小学校区まちづくり協議会設立に向け、4部会(防災、支え合い・交流、子育て、みどり・自然)を設置した。 ・地域共生ステーションでは来訪された方へまちづくりに関する情報発信を行った。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置発令中の活動を中止し、当初想定の進展を図れなかったため。
	15 多文化共生社会事業	外国人市民のニーズや国際情勢、本市における多文化共生の実態を把握し、外国人市民が地域の一員として活躍・生活することができるよう、多文化共生の地域づくりや国際交流意識の醸成に取り組む。	多文化共生促進事業実施回数【単年】	3 回 (0 回)	7 回 (令和6年度までに7回実施。※令和2年度は目標値0回)	233% (ー)	・長久手市多文化共生推進会議を実施した(有識者会議、2回開催、のべ20人出席) ・長久手市多文化共生推進連絡会議を実施した(庁内会議、2回開催、のべ24人出席) ・関係課連携事業を実施した(マイナンバー説明会、外国人子育て座談会) ・学校への日本語学習サポーター派遣事業を実施した	—
	16 国際交流協会支援事業	多文化共生の地域づくりや国際理解・交流の促進に取り組むため、長久手市国際交流協会への支援と連携を行う。	国際交流協会が実施する多文化共生推進事業への参加者数【単年】	2,900 人 (2,850 人)	2,415 人 (967 人)	83% (34%)	・多文化共生推進事業として、日本語教室(木曜日・土曜日、月3~4回)、こどもにほんご(日曜日、月3~4回)、英語絵本読み聞かせ等を実施した。 (参考)上記の他にも、国際交流協会として下記取組を行った。 ・リモテラス公益施設にて日本語学習者や留学生が講師となり母国の文化や言語について伝えるイベント・くーてトーク(動画配信)・国際交流フェスタ(動画配信)・NIA集いの広場(毎週土曜日)・情報誌及び協会PRチラシ発行	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、事業を一部休止したため。
	17 防災士育成事業	地域防災を担う人材育成のため、防災士資格取得費用の助成を行うことで資格取得を促進する。	防災士資格取得の助成件数【単年】	9 件 (6 件)	1 件 (3 件)	11% (50%)	・市広報紙、市ホームページ及びチラシの窓口配布等による制度の周知を行い、防災士助成を1人に実施した。 ・長久手市在住の防災士の交流や、交流に伴う地域の防災活動の活性化をめざし、「ながくて防災士カフェ」を開催した。	本事業では防災士資格取得試験受講料の他に資格取得に伴う研修講座の受講料についても補助を行っているが、新型コロナウイルス感染症感染拡大により、比較的安価で受講できる講習会が中止され、自費の負担が大きくなったため。
イ 市民の健康寿命を延ばす	18 自主防災活動支援事業	地域の自主防災活動の活性化のため、自主防災組織が開催する防災講習会や防災資機材の貸与等の活動支援を行う。	自主防災倉庫設置数【累計】	57 地区 (56 地区)	57 地区 (57 地区)	100% (102%)	地域住民の主催により実施される自主防災講習会について、コロナ禍においても消毒や3密回避など基本的な感染症対策を徹底して実施し、430人が参加した。	—
	19 公共交通ネットワーク構築事業	長久手市地域公共交通会議を開催し、交通事業者、行政、市民が連携しながら、地域公共交通の確保・維持及び活性化を図り、地域にふさわしい公共交通の構築を行う。	市内公共交通の利用者数【単年】	5,367 千人 (5,313 千人)	3,912 千人 (2,337 千人)	73% (44%)	・公共交通の利用促進事業として、市民有志による「公共交通応援隊キッズイベントグループ」主催の公共交通交流会を下記内容にて2回実施し、38名の参加があった。 内容:リノモ車庫見学、公共交通ミニ講座 対象:未就学児、小学生 ・令和3年4月1日よりN-バスのルートとダイヤが再編された。	令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、外出を自粛する方が増え、公共交通利用者が減ったため。

基本目標 4 観光交流 (地域の魅力を活かし、賑わい・活気・交流をつくる)	数値目標	基準値 2018(平成30)年	目標値 2024(令和6)年
	観光交流者数	約340万人	約370万人
	数値目標	基準値 2019(令和元)年	目標値 2024(令和6)年
	地域における自慢すべき「宝」があると思う人の割合	42.7%	50.0%

基本的方向	施策・事業名	事業概要	KPI(重要業績評価指標)	目標値 令和3年度 (令和2年度)	実績値 令和3年度 (令和2年度)	達成率 令和3年度 (令和2年度)	令和3年度の活動結果	達成できなかった理由 (令和3年度の目標値に対し、実績の達成率が100%未満の場合のみ記入)
地域資源を活かした長久手の魅力とオリジナリティを創造・発信する	20 観光交流協会支援事業	長久手市観光交流協会が行う、観光PRやイベント実施、交流の場の創出、新たな地域資源の発掘等、長久手市ならではの魅力的な観光交流まちづくりの実現のために必要な事業を支援する。	観光交流協会新規事業の実施件数【累計】	8件 { 4件 }	7件 { 3件 }	88% { 75% }	(一社)長久手市観光交流協会が主体となって新たな観光ガイドブックの作成や新たなおみやげ品の開発、令和3年6月に開館したリニモテラス公益施設内での観光案内所の開設など事業を展開し、市の観光PRや交流などを行った。	・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、予定していたイベント事業が実施できなかったため。
	21 アートのまちフェスティバル事業	文化の家をはじめとする各施設、ギャラリー等市内全域で行われるアートの祭典を、市民やアーティスト・大学等とのパートナーシップで運営する。	アートフェスティバル来場者数【単年】	18,800人 { 18,700人 }	10,344人 { 475人 }	55% { 3% }	市内の大学や市内の企業と連携しながら、文化の家や中央図書館、リニモテラス、イオンモール長久手、市内の飲食店、お寺等の様々な店舗や施設とパートナーシップをとりながら、ながくてアートフェスティバルを開催した。	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、アトリエマーケットやワークショップ等の不特定多数の人が集まる催事は中止としたため。
	22 長久手版プレーパーク整備事業	子どもが用意されたプログラムの中で体験活動をするのではなく、子ども自身の意思と自由な発想のもとで遊ぶことができる里山を整備する。	長久手版プレーパーク整備箇所数【累計】	0箇所	(令和6年度までに1箇所)	-	プレーパークの実現に向け、令和3年11月20日「ごちゃまぜの遊び場作り～母親から見たプレーパーク～」と題した講演会を実施した。「プレーパークはどんなもの?」「なぜプレーパークが必要?」などについて講演会を行い、プレーパークの名称の周知とプレーパーク実施者発掘を試みた。	-
	23 古民家活用事業(現:歴史民俗体験施設整備事業)	江戸時代後期の建築とされ、市内に現存する最古の古民家について、この地域のくらしや歴史文化を後世に伝えるため、歴史民俗体験施設として、古戦場公園に整備する。	復元する古民家の棟数【累計】	0棟	(令和6年度までに1棟)	-	・古民家移築にあたっては、できるかぎり多くの部材を活用して移築する方針で事業を進めた。 ・移築工事は市民参加型の工法とする。 ・古戦場公園再整備事業市民ワークショップを2回行い、延べ60人が参加した。	-
人が集まり情報の受発信が行われる交流の場の創造	24 リニモテラスにぎわい創出事業	「リニモテラス公益施設(仮称)」をはじめリニモ長久手古戦場駅北側のリニモテラスにおいて、市民の新たなつながりをつくるために、市民が主体となってにぎわいを創出する事業を行う。	リニモテラスイベント実施回数【単年】	50回 { 12回 }	79回 { 4回 }	158% { 33% }	持続的な活動等として、観光交流協会による観光案内所運営、国際交流協会による集いの広場やオープン日本語教室の展開がある。四季イベントとしては、各季節をテーマにして指定管理者及びリニモテラス運営協議会による参加型イベント(リニモテラス公益施設夏祭り、冬祭り「みんなでお正月!」)を行った。	-